

# 第5次ニセコ町総合計画(案)についての意見募集結果

平成24年2月23日

第5次ニセコ町総合計画(案)について、まちづくり基本条例に基づき、ご意見を募集したところ、以下のとおりご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方については、次のとおりです。

意見の概要	意見に対する町の考え方	採否
<p>火葬場の建設について 基本構想の「ゴミ分別の精度を上げ、リサイクルの仕組みを改善する」の政策項目に、火葬場の建設を事業として入れるのは、おかしいのではないかと。</p>	<p>火葬場の建設については、政策項目「町の財産の有効活用を進める」を、「町の財産の有効活用を図り、施設の整備を進める」に変更し、老朽化が進む火葬場の建て替えについて検討する事業として加え、整理しました。</p>	採
<p>基本理念について 5つの将来像から、「環境創造都市ニセコ」をイメージすることが難しい。また、これまでニセコ町について、様々な場で「国際リゾート地」など多様に表現されてきたが、総合計画の中で統一すべき。</p>	<p>基本理念「環境創造都市ニセコ」は、環境の保全と創造を推進することにより、後世に伝えていけるような環境重視のまちづくりを目指し、食べ物やエネルギーが町内で循環する仕組みを作りたいという強い思いから生まれました。第4次ニセコ町総合計画における基本理念「小さな世界都市ニセコ」も、時間をかけてそのイメージが共有され広く支持されるに至った経緯がありますので、「環境創造都市ニセコ」についても、今後、政策や事業を通して、町民の皆様と共有できるよう周知に努力していきたいと考えております。 また、ニセコ町についての表現方法については、様々な機会や計画書によって違う側面からニセコ町を捉え表現できることから、それぞれに即した表現方法があってもよいのではないかと考えております。</p>	否
<p>戦略ビジョンのシナリオについて 各計画（「環境基本計画」など）との整合性を取る必要がある。また、進行管理について、2年単位、あるいは町長任期とずらした4年サイクルなど、任期途中での反映責任を意識すべき。</p>	<p>各計画書と整合性を取ることは、当然のことと考えております。今回、総合計画策定時には、現在動いている計画との整合性は取りましたが、今後新たに計画を作る際には、総合計画に合わせて整合性を取って策定を進めて参ります。 また、進行管理については、庁舎内で毎年PDCAに基づき、見直しをかける仕組みとしたことによって、4年ごとの町民の皆様からのアンケートの結果と合わせ、町長の任期途中での反映責任を意識したものとなっております。 ※PDCA Plan（計画）→Do（実行）→Check（点検）→Action（見直し）</p>	採
<p>住民参加のあり方について 戦略ビジョン10の「新しい公共」「第二役場」の表記には、興味深くその展開に大きく期待するが、まずは役場内部で十分に理解し共有化してから、町民への理解を得る努力が求められる。また、町行政への住民参加（任意グループ、自治会、ボランティアとなど）は、意識されずに埋もれてしまう懸念もあるが、実現への行動を期待する。</p>	<p>町民の皆様が主体となって行う積極的な活動を期待し、新しい公共についての計画を盛り込みました。様々な形態で、動きが出てくることを想定し、住民の皆様と協力してよい形で動いていけばよいと考えております。住民の皆様自らが提案し多様な実践活動を起こし、それを行政が支援する住民の皆様主体の新しい住民参加の仕組みができることを期待しております。 そのような期待に基づき、行政としても「新しい公共」の趣旨について町民の皆様の理解が深まり活動のきっかけが生まれるよう取り組むと同時に、役場内部でも十分に理解し、共有化を図るようにしていきたいと考えております。</p>	採
<p>ビジョン間の背反性（関連性）について 戦略ビジョン間で、戦略推進プランが複雑に関連している。例えば、「関連表」などを作り、それを目に見える形で明確に表してはどうか。所掌原課間での調整配慮にも有効であり、住民理解にも貢献するはず。</p>	<p>戦略ビジョンは互いに複雑に絡み合っており、そのことは言葉で並べるだけではわかりにくいと感じております。住民の皆様や役場内でも複雑に関連していることが意識できるような表を、もう少しわかりやすく作成し、資料編に追加したいと考えております。</p>	採